

療育・教育専門部会 活動状況報告書

1 開催状況 ※前回全体会（令和6年9月）以降の開催状況

第3回	9月	30日（月）	場所：沼津市役所8階	会議室
第4回	11月	28日（木）	場所：沼津市役所8階	会議室
第5回	1月	14日（火）	場所：沼津市役所8階	会議室

2 協議事項（貴専門部会で重要度の高い議題を2点以内に絞り込んでください）

(1) 医療的ケア児のニーズへの対応について

内容：

医療的ケア児支援のきっかけ作り及び関係機関の医療的ケア児に対する知見を深めるために、静岡県医療的ケア児等支援センター職員を講師として招き、同センターの活動報告をいただいた。講義終了後、グループワークを実施し、講義内容及び今後の同センターとの連携方法について理解を深めた。

なお、事前打ち合わせとして、同センターへの訪問も実施。

検討結果・課題等：簡条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

- 同センターの業務内容、医療的ケア児らを取り巻く環境、課題を共有。
- 課題解決に向けて、支援者全体で当事者意識をもって対応していくことを確認。
- 多職種連携や情報共有ツール等の活用を積極的に行い、切れ目のない支援を実現することが求められている。

(2) 事業所・学校・家庭との連携について

内容：

沼津特別支援学校の実情及び連携方法について関係機関で共有することを目的に、沼津特別支援学校地域連携課教諭より講義をいただいた後、小グループでのディスカッションを行った。

検討結果・課題等：簡条書き（文章で記す場合は「内容」欄と同様に記載）

- 特別支援学校に比べ、普通校との連携にハードルを感じている。
- 児への多角的な支援を実現するために、学校とのスムーズな連携及びサービスの理解を深めることのできる場が求められている。
- 学校との連携時には、各学校に必ず1名は配置されている特別支援コーディネーターを活用することが有効。
- 学校連携の中核となる人物について、年度当初に基幹相談支援センターが情報集約し、関係機関が学校と連携するときに活用できる仕組みづくりが出来たらよい。

上記以外の協議事項（上記(1)(2)以外特筆することがあれば、タイトルだけ簡条書きしてください）

- ◇ 保育所等訪問支援のニーズへの対応について
- ◇ 不登校児童への対応について
- ◇ 児童の短期入所の実情について

3 その他（自由記載）

各議題が広域・制度横断的に検討しなければ解決に繋がらないものが多い。これまで関わっていない機関・職種とも連携しながら協議を深めて地域課題解決に繋げていく必要がある。

専門部会の活動を通して、何らかの政策提言が出来るよう、議論を活発化させる必要がある。